

予告!!

次回11月号はデジタル号になります。20日に全厚労HPにアップします。

QRコードからアクセス



全厚労ニュース

全国労働組合連合会
〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日 定価 30円
<https://www.zenkouro.org/>

2面

看護の力を社会に示そう
学習講演 神戸市看護大学・林千冬教授

看護をあの手この手で語り合おう

労働環境改善と賃金・人員大幅増を目指して

第34回幹部・看護師集会



10月14～15日、秋田県秋田市ANAクラウンプラザホテルにて、全厚労第34回幹部・看護師集会を開催しました。2019年10月の仙台開催以来となった集会は、現地会場とZOOMミーティングのハイブリッド方式で開催し、現地会場41人、オンライン40人の15県81名が参加しました。永遠の「知って知らせて組織する」を集会テーマに、神戸市看護大学教授の林千冬先生を招いての学習講演や、「林千冬の今知りたいでしょ!」と題した活発な質疑応答の時間も設けました。(林先生の講演・質疑応答は2面)

また特別報告では、広島から「週休3日制度を利用しての感想」として、“子育て世代の立場から”と、“迫さんの週休3日体験記”の2本の報告がありました。

分會会は、現地6、オンライン5グループに分かれて行い、自己紹介で集會参加の目的などを共有し、林先生の講演を聞いて感想・印象に残ったこと、もっと聞きたいことなどを出し合いました。その後、各職場での問題点について意見交換を行い、解決策や実際に職場でどのように取り組むことができるかなどを話し合いました。

看護や医療制度などについての疑問・質問を、各班でまとめました。また参加者は秋の国民集會(4面カコミ記事参照)のメッセージボードに、自分の想いや要求を記入してアピールしました。

3年ぶりの開催となった幹部・看護師集会でしたが、始めてしまえば、看護師さんの持つパワーで、終始活発に議論が行われました。そこに、パワフルな林先生の講演や質疑応答で多くの知識と元気を頂けた集會になりました。看護師の働き方は、もともと問題のある労働環境に、新型コロナの感染拡大で、より人手不足や夜勤回数・長時間労働が深刻となっています。看護師の仕事に見合った賃金、働き続けられる労働環境への改善に向け職場や社会に訴えていきましょう。(4面参加者インタビューに続く)

第34回幹部・看護師集会in秋田 3年ぶりの開催に81名

労組が看護を語り、語り継ぎ、語り広める場に

3年ぶりにリアルに集まって開催した第34回幹部・看護師集会in秋田では、神戸市看護大学の林千冬教授に2日間に渡って参加して頂きました。参加者からは、初日の学習講演を受けて、「5〜8人に分かれてグループワークを行い、2日目の全体会「林千冬の今 知りたいでしょ!」では、出てきた疑問や意見に対して、「コメントをもらい、理解を深めること」が出来ました。

コロナによる変化。メリットとデメリット

林先生は、この3年間コロナ禍の中で奮闘してきた現場の看護師へ、労いの言葉をかけられ、自身も突如オンライン授業を余儀なくされたり、看護職としてコロナ宿泊施設の2交代夜勤に入ったり、電話相談、保育所に支援に入っただことなどの苦勞も話されました。

かなり気が楽になったが、直接みなさんを目の前にして話せることがとても嬉しいと仰いました。

職場レベルでの取り組みを進めよう!

先生は、最初に「本日のまとめ」として、まず結論を話されました(図1)。

医療現場でも、少しずつ労働環境改善が進められていますが、看護師増員という動きにはなっておらず、タスクシフト(医師↓看護師↓補助者)の動きも進んでいる状況にあって、依然看護現場は厳しい状況にあります。

オンライン授業では、生徒の反応が見えずに戸惑ったものの、生徒にとっては「教室よりも先生が身近に感じられるようになった」とや「サボリづらくなった」といったメリットも。生徒の反応が見えないという件も、ある知人から「ラジオパーソナリティのつもりで話したら?」という助言を受けて、「確かにリスナーに語りかけるようにして、



参加者の質問に熱く答える林千冬先生

図1

お先に本日のまとめ	
・	コロナ禍での混乱、労働環境の悪化は、もともとの労働環境の問題がベースにある。
・	この間、労働環境改善の動きは少しずつ進んではきた。ただし、看護師増員をはっきり打ち出していない。
・	そんな中、補助者への委譲、特定行為研修といった動きが進行。
・	そんな中、夜勤交代制勤務をはじめ、労働条件の現状も相変わらず厳しい。
・	労働条件改善のためには、経営側と交渉すべき課題とともに、看護管理者に働きかけ職場レベルで取り組む課題もあるはず。←考えてみてください。柔軟に♪
・	批判し、要求しつつも、看護の大切さと、看護を止めない素晴らしい社会にアピールしましょう。
・	そのためにも、日々看護を實施し、看護を語り合ひましょう。仲間で、職場で、組合で!

図2

あの手この手で!	
・	職場でのフォーマルな語り合い 実りあるカンファレンス。率直に、本音で、民主的に
・	職場でのインフォーマルな語り合い 先輩と後輩。みなさん、熱く看護を、失敗も苦悩も成功も含めて、熱く語っていますか?
・	職場外で語る。PTAで、趣味のサークル等。
・	SNSも無視できない。専門職の中には、ブログやfacebookで精力的に発信している人もいます。
・	マスメディア。接点ができたら離さず、しっかり語って理解者・味方に引き入れる

そして、労働組合! \ (^o^)/

世界の基準を調査している中で、「英国では6対1しかない」という話を聞いて、ちょっとびっくりした経験も紹介されました。

身体に負担の少ない「正循環」交替制での勤務割り、休んだ気にならない「など」と看護師には評判が悪く、「まだまし」な2交代導入の動きにも表れているけれども、長時間夜勤には、短期・中期・長期の3つの健康リスクがあることを理解し、少なくとも120分間の仮眠(8時間夜勤であっても)を取ることが大切だと話されました。

夜勤改善策として今取り組めることは、「まずは現在持っている夜勤協定の遵守、そして夜勤のルールを職場内で民主的に取り決めていくこと」。システムは変えられなくても、ワーク(業務内容と量の整理)と、ジョブ(職務の権限・やりかた)は変えられる、として「なくせるワークを探そう」と提案されました。

先生は、アメリカ・カリフォルニア州の人員配置は、最低でも精神科の6対1、内外科科で5対1(2010年)になっていることを紹介され、

先生は、アメリカ・カリフォルニア州の人員配置は、最低でも精神科の6対1、内外科科で5対1(2010年)になっていることを紹介され、

青年 交流企画にむけて スタート!



アイスブレイクのディスカッション交流のようす

青年委員会は10月9日、第1回委員会を全厚労会議室とWEB併用で開催。昨年度取り組んだ最賃体験やK'sなどについて総括、今年度の活動について話し合いました。委員会では、来年8月に医労連青年協「アクトインサマ in九州」の開催に合わせ、参加呼びかけも兼ねたオンラインでの青年交流集会を検討しています。2024年夏のK's企画も、気持ち新たにスタートしました。青年が交流し語り合える場をつくるため、今後も議論を重ねていきます。

働き方を変えなければ、看護師は増えない

「日本人は時間に厳しい」というが、定時より前の残業業や、サービス残業など、実際には労働時間についてはルーズであって、多様な働き手や外国人、高齢者雇用(プラチナナース)活用を目指すならば、短時間労働者などを活用していく必要があることを強調されました。

看護研究をやめよう! 看護実践に活かすものを

看護現場に残っている「サバイバルできている人たち」を基準に考えず、週32時間労働制など、息長く働ける勤務シフトを考えていく必要があります。

あの手この手で語り合うこと

看護現場をより良く変えていくために、「あの手この手」で語り合うことを呼びかけられました(図2)。「職場でのフォーマルな語り合い、インフォーマルな語り合い」の場の外で、SNSでも「マスメディアも使って」、そして「労働組合が、看護を語り、語り継ぎ、語り広める良き場となるように」期待を込めて、「労働組合には頑張っただけ」と訴えられました。

「日本には時間に厳しい」というが、定時より前の残業業や、サービス残業など、実際には労働時間についてはルーズであって、多様な働き手や外国人、高齢者雇用(プラチナナース)活用を目指すならば、短時間労働者などを活用していく必要があることを強調されました。

グループワークで出された質問「看護研究は必要なのか?」に対する林先生の答えは、「看護師のやるべきことはケアであって研究ではない。ケアと対立するような時間を取られることはする必要はない。もちろんラダーに必要な研究もあるが、看護研究は自らやりたい人や研究者にまかせれば良い。より良い看護を行うために研究は使うことが前提。実践報告などで研究者にフィードバックするようなものであれば」と話されました。

看護現場をより良く変えていくために、「あの手この手」で語り合うことを呼びかけられました(図2)。「職場でのフォーマルな語り合い、インフォーマルな語り合い」の場の外で、SNSでも「マスメディアも使って」、そして「労働組合が、看護を語り、語り継ぎ、語り広める良き場となるように」期待を込めて、「労働組合には頑張っただけ」と訴えられました。

特に短時間労働は、ゆとりが「やさしさ」に繋がっていて、看護ケアの上でも大事だと話されました。潜在看護師に戻ってきてもらうなら、「まだマシな2交代」でも「過酷な3交代」でもダメで、過酷な

また勤務表作りが民主的に

※自らも大学の独法化で、「教職員労働組合の役員」として頑張っているそうです。

第34回幹部・看護師集會に参加して

村上 典枝

(岐厚労西美濃支部・看護師)



自己紹介と参加のきっかけ

昨年度、岐厚労本部の看護委員長になり、同時期に全厚労看護委員になりました。今回の集會には全厚労看護委員として参加しています。仙台までは来たことがありましたが、秋田に来たのは初めてです。

林千冬先生の講演の感想

林千冬先生の講演の中で「10分間時間があつたら何がしたいか」という問いがあり、自分だったら何するかと考えると、私は患者さんと関わるのが好きなので、10分あつたらベッドサイドに行つて、会話するかなと考へてみたり、実際に今患者さんと関わる時間が減つていて、もう少し時間をうまく使えたらいいなと思つていたところがあるので、時間があつたらベッドサイドに行つてみようかなと感じました。

その他、集會で印象に残ったことは？

広厚労の特別報告で週休

3日制の話聞いて、私が広島にいたら週休3日制を使うと思ひました。自分の時間を作つたりできるの

で、働きやすい勤務体制を整へることで、潜在看護師や、育休明けや、産休から戻る人たちが働きやすくなることできるなと感じました。

三瓶 千秋

(福厚労白河支部・看護師)



自己紹介と参加のきっかけ

今年10月に、埼厚生病院から白河厚生総合病院へ勤で異動になりました。趣味は登山ですが、初心者です。休日は、福島県にある安達太良山などへ出掛けてます。これから行つてみたい山も沢山あります。

この集會へ参加したきっかけは、専従の佐々木さんに声をかけて頂き、始めての集會参加であり、秋田での開催と聞き魅力を感じ参加しました。

林千冬先生の講演の感想

林千冬先生の講演では、看護のタッチングの話がありました。タッチングは、普段の業務の中で、私たち看護師は何気なく患者さんに行つていますが、それは看護だからこそできることだと思ひています。埼厚生に勤務していた時は、内視鏡室を担当させて頂いておりました。患者さんは反射で涙、鼻水、嗚咽といった辛い検査だと感じますが、背中をトントンすることで「落ち着いて検査ができた」「楽にできた」という言葉を頂け、嬉しいと思ひますし、林先生の講演を聞いて実際にやつてい

る事ではあります。改めて看護の力を再確認する事ができました。

グループワークでは他職種・他県との交流も



想いがこもったメッセージボードを作成

その他、集會で印象に残ったことは？

グループワークでは、他県の厚生連の方と話すことができた。有給休暇の取得状況、勤務希望の通りやすさなど各県様々で、自分の働く病院の方が良いこともあれば、色々参考になることもありました。また、機会があれば集會に参加したいと思ひます。

松田 豊宏

(香厚労屋島支部・看護師)



自己紹介と参加のきっかけ

今年で看護師5年目です。集會には組合で「行つてみる？」と聞いてくださったので、組合がどんな活動しているのか興味もあつて参加しました。

林千冬先生の講演の感想

講演の中でケアの話があり、今いろいろなこと慣れてきて患者さんに対して「お仕事」として関わつていたなと感じました。1、2年目の頃は患者さんとの関わりが大事や！と思つていたので、少し時間が掛かつても色々お話ししながらやつていました。いま看護師の人数も減つてきて患者も増へて、深くお話しする時間なくなつてきました。2年目の頃にいつも笑顔だった終末期の患者さんが不安について話してくれた時、もっと寄り添つた看護をしたいなという思ひがありました。その気持ちが少し薄れていたので、もう一回気持ちを直していききたいと思ひます。

富永 みち子

(広厚労吉田支部・看護師)



林千冬先生の講演の感想

先生への質問のやりとりの中で、皆さんから「看護研究はする必要はあるのか」という話が出ました。学生時代からの教育で、看護師は看護研究をするものだと思つていたので、先生



活発な意見交換、情報共有を行いました

その他、集會で印象に残ったことは？

新人教育についての話も多く出ていて、コミュニケーション不足になってくると職に繋がってきません。1年ぐらい経つても馴染めない人や、スパッと辞めてしまう人もいて、新人は技術面は出てくるので、馴染めるような工夫が必要と思ひます。

せやろがいおじさん吠える!!

10月20日「#いのちまもる医療・社会保障を立て直せ! 10・20総行動」が東京都千代田区日比谷野外音楽堂で行われました。会場、オンライン合わせ1100人以上参加。全厚労からも現地とオンライン合わせて66名が参加しました。

集會のトークショーには特別ゲストとして、沖縄でお笑い芸人&ユーチューバーとして活躍している「せやろがいおじさん」が登壇。YouTubeでおなじみの赤いふんどしと、赤いTシャツを身に



赤いふんどしで登場

着け、社会問題ネタを爽快なテンポでまくし立てました。自身は辺野古の新基地建設反対の立場だといひ、大学生当時住んでいた家が基地の近くだった経験も踏まえた沖縄の基地問題の話や、選挙で改憲勢力が3分2以上になったことを受けての危機感など、緩急をつけたトークで会場

を盛り上げました。集會はQRコードからYouTubeでご覧ください。



Youtubeでお決まりの「せやろがい」ポーズ